

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
初級中国語	国際交流科	3	2	中国語中級の一步手前（駿河台出版社）	

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 中国語の発音に習熟し、中国語で意向を正確に伝える力を育成する 中国の言語、文化により深い興味関心を持たせる
---------	--

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	「中国語中級の一步手前」 第1課	<ul style="list-style-type: none"> “已经～了”、“得”+様態補語 刚…的时候 就是 	<ul style="list-style-type: none"> 「もうすでに～だ」「～するのが～だ」等の表現を用いることができる。 「～たばかりの時」「ただ～だ」の表現に習熟する
	5	第2課	<ul style="list-style-type: none"> 数量補語、結果補語 「比」を使う比較文 	<ul style="list-style-type: none"> 動作行為の時間量・回数・結果を表す表現に慣れる 比較を表す表現に習熟する
	6	第3課	<ul style="list-style-type: none"> 連動文、「把」構文 “除了～以外，都（还）…”の構文 	<ul style="list-style-type: none"> ”把”の使い方が理解できる 「～であり、また～だ」の構文が理解できる。
	6	第4課	<ul style="list-style-type: none"> 又…又… “才”を含む表現 ”虽然～但是～”の用法 	<ul style="list-style-type: none"> 「やっ」と当たる語を用いて表現できる 「～だけれども～だ」のやや複雑な構文に習熟する
	6	第5課	<ul style="list-style-type: none"> 動詞”着”・存現文 ”在～呢”、兼語文 	<ul style="list-style-type: none"> 存在・出現・消失を表す構文に習熟する 動作の継続表現、進行形の構文に習熟する
	7	第6課	<ul style="list-style-type: none"> 反語の表現、離合詞 ”如果～的话” 	<ul style="list-style-type: none"> 「離合詞（動詞と目的が離れた表現）」に慣れる 「もし～なら」を使った表現ができる
二	9	第7課	<ul style="list-style-type: none"> 可能補語 ”会～的” 	<ul style="list-style-type: none"> 動詞+得/不+補語（結果・状態）の文の構造に慣れる 「～はずだ」を表現できる
	9	第8課	<ul style="list-style-type: none"> 連体修飾語につける「的」 ”请你…一下”、“听说…” ”从…到…先…（再）, 然后…” 「往」+方向/場所+動詞 「对」+名詞 	<ul style="list-style-type: none"> 連体修飾の表現が理解できる 「ちょっと～てください」の表現ができる 「～から～まで、まず～それから」の表現ができる 「～へ」の表現に習熟する 「～に対して」の表現に習熟する
	10	第9課	<ul style="list-style-type: none"> 受け身の”被” 方向補語 ”是…的” ”连…都…” ”让”、“为” 	<ul style="list-style-type: none"> 受け身表現が理解でき、かつ使える いろいろな「～てくる、～ていく」の表現に慣れる 「～たのです」の表現ができる 「～でさえも～だ」の表現ができる
	11	第10課	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞の連用 …什么的 	<ul style="list-style-type: none"> 使役表現ができる「～ために」の表現が理解できる 「何か/どこか/いつか」や、「どんな～も」「～など」の表現が理解できる
	12	第11課	<ul style="list-style-type: none"> 越来越/「越」+動詞+「越」 比如说・間接話法 	<ul style="list-style-type: none"> 「～すればするほど～だ」の構文に習熟する 間接話法に習熟する
三	1	第12課	<ul style="list-style-type: none"> ”祝”（愿） 因为…所以（才）… 連用修飾語に付ける「地」 ”却” 	<ul style="list-style-type: none"> 願い・祈りの表現が理解できる 「～したから～した」の構文に習熟する 動詞等を修飾する副詞的用法の表現に習熟する 「～のに+（通常の道理に反する状態）」の表現に習熟する
	2		復習	
	3			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	中国語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする。	中国語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する。	中国語の学習を通して、言葉とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身に付けている。
◎評価の方法				
「評価の4観点」に基づいた評価、授業中の発表、提出物、定期考査の成績、出席状況を総合評価して行う。				